

平成 28 (2016) 年 9 月 7 日  
在ベネズエラ日本国大使館  
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

**「自宅授業」を始めて3年目、思い切り楽しく、思い出に残るものにしたい！**  
**「災い転じて福となす」「ピンチをチャンスに変える」その発想と行動を大事にしたい！**



■ 日本から来ました！ ■

この夏に一時帰国した先生が和太鼓の皮と3台目のノートパソコンを持ち帰ってくれました。これで太鼓もパソコンも充足し、さらに充実した教育活動ができます。

**自宅授業って楽しいな…**



**緑の風に包まれた平和な午後のひととき…**



■■ 「自宅授業2日目」「第2回遊び塾集会」 ■■ 9月2日(金)は1日に続いての「自宅授業」でした。学校と同じ6時間授業を自宅で行いました。午後は5時間目が全校学活で、1学期に続いて第2回目の「遊び塾集会」を行いました。今回は学校と違って隠れる場所がいっぱいあることを活かして、「かくれんぼ」「かくれおに」「カンけり」をしました。これで「遊び貯金」は57種類になりました。(目標は100です) 6時間目の体育も学校とはまた違った環境を活かした授業となりました。自宅授業も最高です。

**カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その120)**

**カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 15**

民家で始まったカラカス日本人学校。広いグラウンドのない中で、子どもたちは一体どんな遊びをしていたのでしょうか。これも当時の子どもたちの作文を読むとわかります。

「…ぼくたちは、いつもフットベースをしています。ぼくたちの学校はせまくて、月よう日は、1、2年とかきめています。(小1)」「…この2年間でぼくの心の中のこったことは、うんどう会ともちつき大会と遠足です。スペイン語の時間に立たされたことや、かくれんぼをしていた時、だれかが『来た。』と言ったから見つかったことなども思い出としてのこっています。(小2)」「…休み時間のチャイムが鳴った。校庭に出て、5年生とドッジボールをした。ぼくたちは、東のじんちをとった。西のじんちにはかべがあるからだ。(小2)」「…



今、運動場ではフットベースがはやっています。バージェフレスコの学校では、男の子たちは野球をしていました。野球クラブや体そう、テニス、卓球などスポーツクラブがたくさんありました。(小4)」「…今でも印象に残っていることは、中1、中2の時、モンセニョール幼年学校と卓球、バレーボールの親善試合をやったことです。(中3)」今から37年も前の子どもたちの作文です。(写真：左は37年前、右は今年の写真。昔も今も卓球は人気です。)